

第4章 地区別計画 ～地域の目指す姿～

1 地区別計画とは

地区別計画は、各地域の目指す姿や様々な課題に対する活動をまとめたもので、地域の人々が主体となって策定・推進する計画です。中区では、区内の12連合町内会エリアに寿地区を加えた13地区がそれぞれ策定しています。



〈13地区の目指す姿〉

① 第1北部地区 赤門町・黄金町・桜木町・野毛町・初音町・花咲町・英町・日ノ出町・宮川町

人と人が支えあい、世代も国籍も超えてつながる、
安全で安心して楽しく暮らせる愛着のもてるまち

② 第1地区中部 曙町・伊勢佐木町・末広町・末吉町・羽衣町・福富町・蓬莱町・弥生町・吉田町・若葉町・長者町の一部

誰もが多文化共生する、安全で健康なまち「いちなか」

③ 関内地区 相生町・太田町・尾上町・海岸通・北仲通・新港1丁目・新港2丁目・住吉町・常盤町・日本大通・弁天通・本町・真砂町・港町・南仲通・元浜町・横浜公園

「こんにちは」「コンニチハ」笑顔が繋がるまち・関内

④ 埋地地区 翁町・千歳町・万代町・富士見町・不老町・山田町・山吹町・吉浜町・扇町・寿町・長者町・松影町・三吉町の一部

笑顔はじける！つながりキラキラ埋地のまち ～誰もが主役で、ワクワクが止まらないまち～

⑤ 寿地区 扇町・寿町・長者町・松影町・三吉町の一部

寿に住んでいる、寿で育ったと、堂々と言えるまち ～寿はたがいに受け止め合い支え合う～

⑥ 石川打越地区 石川町・打越

住んでいる皆さんの支え合いや、助け合いが活き、幸せだなと感じられるまち

⑦ 第2地区 新山下一丁目・新山下二丁目・新山下三丁目・元町・山下町

国際色豊かで、多様な文化と笑顔が交差する 高齢者も子育て世代も住みやすい きれいなまち

⑧ 第3地区 上野町・柏葉・鷺山・竹之丸・立野・仲尾台・西之谷町・本牧緑ヶ丘・豆口台・妙香寺台・麦田町・大和町・滝之上・山手町の一部

みんなが地域福祉にかかわり、つながりを持って助け合えるまち

⑨ 第4地区南部 本郷町・本牧町・本牧満坂・本牧荒井の一部

声がかけあえるまち第4地区南部

⑩ 第4地区北部 北方町一丁目・北方町二丁目・千代崎町一・二・三丁目・千代崎町四丁目・小港町一丁目・ビューコート小港・小港町二・三丁目・諏訪町・本牧十二天

こどもたちの「ふるさと」になるまち ～安心して住みやすい誇れるまち～

⑪ 本牧・根岸地区 根岸町・根岸加曽台・池袋・矢口台・本牧間門・本牧荒井の一部・本牧三之谷・本牧大里町・本牧元町・本牧原の一部・錦町・かもめ町・千鳥町・豊浦町・本牧ふ頭・南本牧

未来に向けて 誰もが安心して過ごせるまち 本牧・根岸

⑫ 第6地区 大芝台・大平町・塚越・寺久保・西竹之丸・根岸旭台・根岸台・簗沢・山元町・滝之上・山手町の一部

自然と歴史の調和・心あたたまる絆・「このまちが大好き」をつないでいく

⑬ 新本牧地区 本牧宮原・本牧和田・和田山・本牧原の一部

新本牧は「あいさつ」でまちづくり ～広げよう！つなげよう！「人の和」～

2 13地区の地区別計画



① 第1北部地区
..... P20



② 第1地区中部
..... P24



③ 関内地区
..... P28



④ 埋地地区
..... P32



⑤ 寿地区
..... P36



⑥ 石川打越地区
..... P40



⑦ 第2地区
..... P44



⑧ 第3地区
..... P48



⑨ 第4地区南部
..... P52



⑩ 第4地区北部
..... P56



⑪ 本牧・根岸地区
..... P60



⑫ 第6地区
..... P64



⑬ 新本牧地区
..... P68



中区地域福祉保健計画

第1北部地区



目指すまちの姿

人と人が支えあい、
世代も国籍も超えてつながる、
安全で安心して楽しく暮らせる愛着のもてるまち

- 赤門町
- 野毛町
- 英町
- 黄金町
- 初音町
- 日ノ出町
- 桜木町
- 花咲町
- 宮川町

野毛といえば
大道芸



野毛の文化活動の発信基地
横浜にぎわい座



1: 孤立を予防し、お互いが見守りあえる、声かけができるようきっかけを作ろう! (えん結び)

- ふれあい給食会を継続していきます。
- 様々な地域の活動やイベント(子供会活動、親子ハイキング、親子の広場)、民生委員・児童委員の定期訪問等を通じて、こどもから高齢者、障害の有無、国籍を超えて、お互いに見守りあえるきっかけづくりを行います。
- 本町小学校とのつながりを生かして、孤立予防、世代間交流に取り組めます。(ふれあい給食会での交流等)

2: 様々な関係機関や団体と、人が上手につながるために、対話と情報発信の機会を増やそう! (えん結び)

- 地区連合会議、中なかいいネ! 推進会議等、様々な人が集まる会議で、取組について共有し、新しい取組等も伝えていきます。
- それぞれ地区で取り組んでいる良い活動を見つけ、支援していきます。
- 中なかいいネ! 推進会議で取り組んでいるイベントMAPの充実やSNS等を活用した情報発信に取り組めます。

3: ラジオ体操等を通じ、体力づくりに引き続き、取り組んでいこう! (元気いっぱい)

- ラジオ体操、大運動会、カラオケ大会、身近な場所で取り組める健康づくりの活動(ウォーキング等)を把握し、支援していく方法を検討していきます。

4: 安全・安心なまちづくりをしよう!

- 野毛地区環境パトロール(昼)・防犯パトロール(夜)、日ノ出町、初黄、赤英清掃・浄化パトロールを継続します。
- 地域防災拠点訓練、防災まち歩き(初黄)を継続します。



イベントMAP

これまでの計画(第4期計画)の振り返り

ふれあい給食会では、民生委員が声かけを行い、参加する人が増え、孤立しないつながりづくりに取り組んでできました。ラジオ体操を継続し、ふれあい給食会でも体操を実施して、体を動かすきっかけになっています。4年ぶりに大運動会も開かれ、さらに若い人への周知をして、地域の活性化につながりました。ボッチャや折り紙の会も始まり、親子ハイキングでは世代をこえて交流できました。防犯のための見回りや地域のイベントをまとめた表も作られ、みんなが参加しやすくなっています。





大運動会



ラジオ体操



カラオケ大会



野毛町3・4丁目町内会館

日ノ出町駅

日ノ出町内会館

西区東小学校
コミュニティハウス ● 市立東小学校

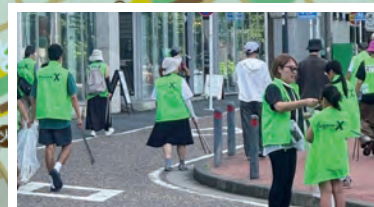
赤英町内会館

黄金町駅

初黄町内会館



ふれあい給食会



清掃・浄化パトロール

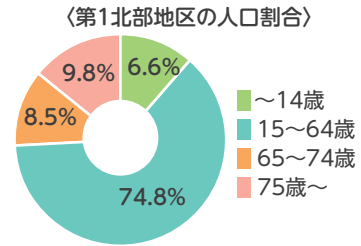
第1北部地区はこんなまち！

野毛山丘陵の裾野と大岡川に沿った地域で、川の上流は赤門で有名な東福寺から、下流は桜木町駅までの細長い地区。古くからの商店街があり、人情味あふれる下町と新しい街並みが融合しています。野毛大道芸、大岡川水上劇場などのイベントアートを取り入れたまちづくり等で活気にあふれています。

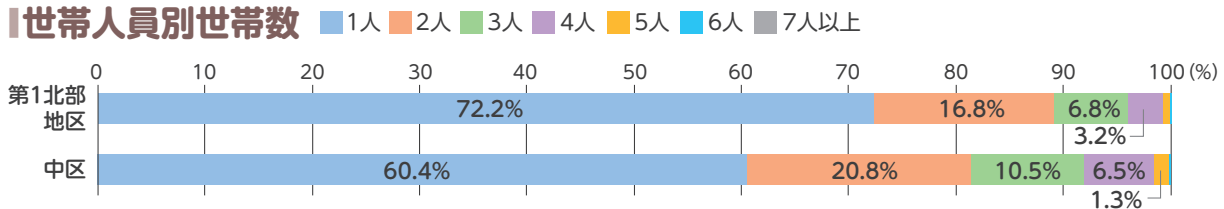
第1北部地区の統計データ

人口

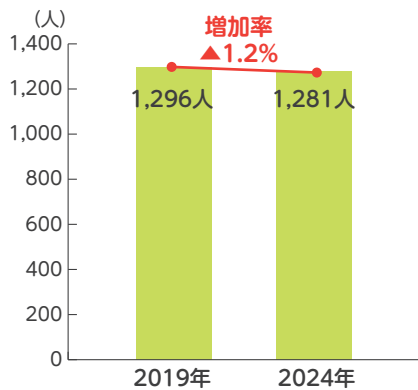
	合計	～14歳	15～64歳	65～74歳	75歳～
第1北部地区	9,810人	656人	7,345人	841人	968人
	100.0%	6.6%	74.8%	8.5%	9.8%
中区	155,313人	14,103人	104,356人	16,773人	20,081人
	100.0%	9.0%	67.1%	10.8%	12.9%



世帯人員別世帯数



地区内の外国人数の状況



出典: 中区外国人数基礎調査(令和6年度実施)

人口は微増しています。15～64歳は約75%と多く、単身世帯割合も高く、働き世代の単身世帯の多い地域です。65歳以上の割合は区平均より低く横ばいで推移しています。

外国人数は横ばいで推移し、10人に1人以上が外国籍の人です。国籍別では中国が約5割となっており、ネパール、韓国、ベトナム、フィリピンなど、様々な国籍の人が暮らしています。

出典記載のないものは「横浜市統計情報ポータル」(令和7年3月現在)より引用しています。

第5期計画はこうに作りました

地区別推進会議で話し合いを重ね、地域の活動団体に意見を聞く機会を作りました。出された意見を推進会議で計画にまとめました。



ふれあい給食会や推進会議を開催している
野毛地区センター



中区地域福祉保健計画

第1地区中部



目指すまちの姿

誰もが多文化共生する、
安全で健康なまち「いちなか」

- 曙町
- 伊勢佐木町
- 末広町
- 末吉町
- 羽衣町
- 福富町
- 蓬萊町
- 弥生町
- 吉田町
- 若葉町
- 長者町の一部



中区の商業の誕生地
イセザキモール



1:「えん結び」

顔が見える関係づくりを進めます

● ラジオ体操

こどもから高齢者まで気軽に参加でき、健康づくりはもちろん、地域のふれあいの場として実施します。

● 餅つき大会

町内会の恒例イベント「餅つき大会」! 杵と臼でぺったんぺったん、つきたてのお餅は格別のおいしさ。こどもから大人まで、みんなで楽しめる温かなイベントを継続します。

● お祭り

お三の宮日枝神社の例大祭や一六縁日など、伝統文化に触れ、地域交流を深めるお祭りを引き続き、実施していきます。

● サロンや「みんなで手話で歌おう」などの身近な場所での定期的な活動



学校の夏休みに開催「ラジオ体操」

2:「元気いっぱい」

歴史ある街で、だれもが、いきいきと、安心して暮らせる地域を目指します

● 音楽、体操、お薬の話など様々なテーマによる「みんな集まれ! 第一地区中部」の開催(年3回程度)

● 防災活動

いざという時のために、地域防災拠点の運営や、トイレの設置訓練など、具体的な備えに取り組みます。



これまでの計画(第4期計画)の振り返り

町内会、商店街、民生委員・児童委員、保健活動推進員、スポーツ推進委員、青少年指導員などが連携し、主に次の取組を行いました。

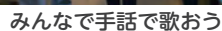
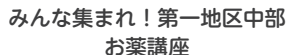
● 地域交流イベント「みんな集まれ! 第一地区中部」の開催

● 「ラジオ体操」の実施

学校の夏休み期間に開催。毎回100人を超える参加者が集まりました。

● 「みんなで手話で歌おう」などの身近な場所での定期的行事の開催



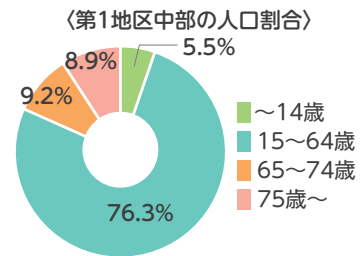


横浜開港以来、にぎわいの中心となってきたまち。お三の宮日枝神社の例大祭や歴史ある商店街のイベントなど、地域の魅力が息づいています。また、国際色豊かで、多様な文化が共存しています。

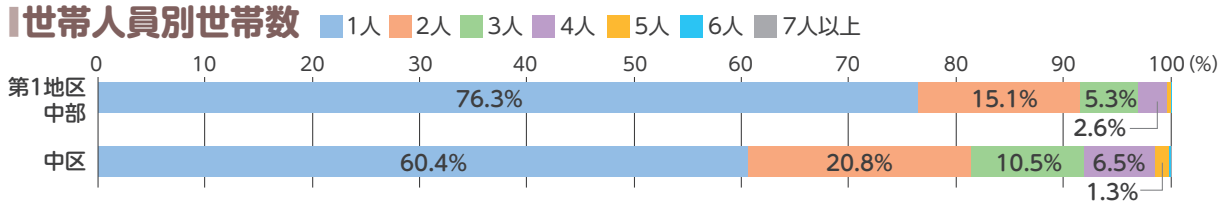
第1地区中部の統計データ

人口

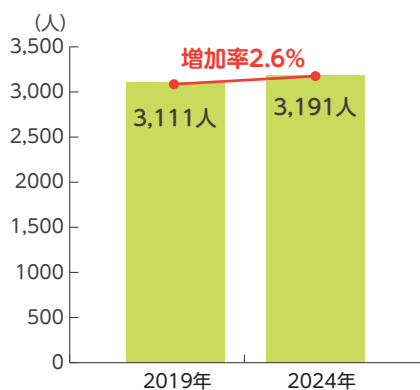
	合計	～14歳	15～64歳	65～74歳	75歳～
第1地区中部	14,124人	779人	10,781人	1,307人	1,257人
	100.0%	5.5%	76.3%	9.2%	8.9%
中区	155,313人	14,103人	104,356人	16,773人	20,081人
	100.0%	9.0%	67.1%	10.8%	12.9%



世帯人員別世帯数



地区内の外国人数の状況



出典: 中区外国人数基礎調査(令和6年度実施)

人口は15～64歳が約76%と区平均より高く、働き世代の単身世帯の多い地域です。

65歳以上の割合は区平均より低く推移していますが、65歳以上人口は増加しています。

外国人数はゆるやかに増えており、5人に1人以上が外国人になっています。国籍別では中国が5割以上となっており、次いで韓国、フィリピン、ベトナムと、10か国以上の人が暮らしています。

出典記載のないものは「横浜市統計情報ポータル」(令和7年3月現在)より引用しています。

第5期計画はこうに作りました

地区連合町内会長をはじめ、民生委員・児童委員、保健活動推進員、スポーツ推進委員、青少年指導員など、地域活動を牽引する委員の方々と、区社会福祉協議会、不老町地域ケアプラザ、区役所で話し合い、地域交流がより一層充実するための方策等を検討しました。



中区地域福祉保健計画

関内地区



目指すまちの姿

「こんにちは」「コンニチハ」
笑顔が繋がるまち・関内

- 相生町
- 海岸通
- 新港2丁目
- 日本大通
- 真砂町
- 元浜町
- 太田町
- 北仲通
- 住吉町
- 弁天通
- 港町
- 横浜公園
- 尾上町
- 新港1丁目
- 常盤町
- 本町
- 南仲通



関内地区イベントカレンダー
平安堂薬局などに置いてあります

1: 高齢者、子どもと子どもの保護者、障害のある方、外国人など様々な人とのつながりを作る取組をしていきます。

- 人が集まるきっかけ作りとなっている「関内地区イベントカレンダー」の取組を続けていきます。
- 年代を超えて知り合うことができる「おしゃべりサロン」の取組を続けていきます。また、何気ない悩みなどを気軽に話せる場が増えるように取り組みます。

2: 企業、団体、学校や地域で活動している様々な人がつながって、交流する取組を行っていきます。

- もちつき大会は、小・中学生も企画・運営に参加しています。子どもから大人まで地域の人が集えるイベントとして続けていきます。
- 子どもから大人まで集まる場所となるよう、地域食堂に取り組みます。
- 地域で活動している人同士が、知り合う機会を作っていきます。
- 企業等と連携して「まちのクリーンアップ大作戦」を続けていきます。
- 夏休み子どもラジオ体操やeスポーツを、体を動かしつつ多世代交流ができる健康づくりの取組として続けていきます。

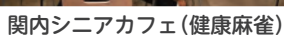
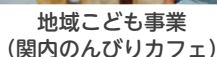
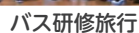
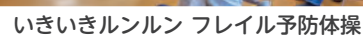
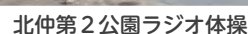
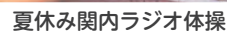
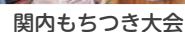
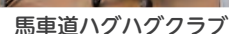
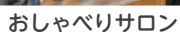
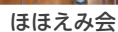
3: 若い人も高齢者もみんなが自分の健康について考え、時には一緒に健康づくりに取り組んでいきます。

- 北仲第2公園ラジオ体操のような定期的開催する健康づくりの取組を続けていきます。
- 脳と体の健康づくりの活動である「いきいきルンルン」を続けていきます。
- 保健活動推進員が中心となって毎月1回ノルディックウォークに取り組みます。
- 食を通して健康を考えると共に人とのつながりができるような居場所づくりをしていきます。
- 健康を目的としていない集まりでも健康ミニ講座を実施し、全ての世代の人が健康を考えるきっかけを作ります。

4: 1～3のつながりも活かして災害が発生してもすべての人が協力できるように、「防災会議」をはじめ、様々な防災の取組を進めます。

これまでの計画(第4期計画)の振り返り

- 店舗や事業者も対象に加えた「防災会議」を開始し、現状把握のためのアンケート実施等、具体的に進めています。
- 関内地区の清掃活動「まちのクリーンアップ大作戦」は、だいぶ地域に根付いてきました。朝からみんな楽しみながら取り組んでいます。
- 「おしゃべりサロン」をコロナ禍でも検温、消毒等を行い継続し、10年(計100回)を超えて開催しました。
- 「関内地区イベントカレンダー」を配布することで、関内地区で行われている様々な取組をお伝えし、人が集まるきっかけ作りを行いました。



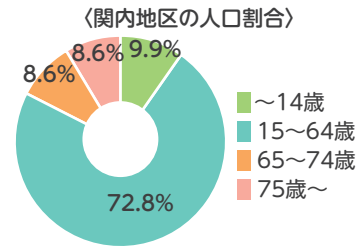
関内地区はこんなまち！

横浜開港以来からの歴史のある街並みのある地域です。官公庁街や飲食店街、オフィスが多く、近年マンションが建築され、住民も増えてきています。山坂は少なく、昔ながらの建物も多く、観光スポットもたくさんある地区です。

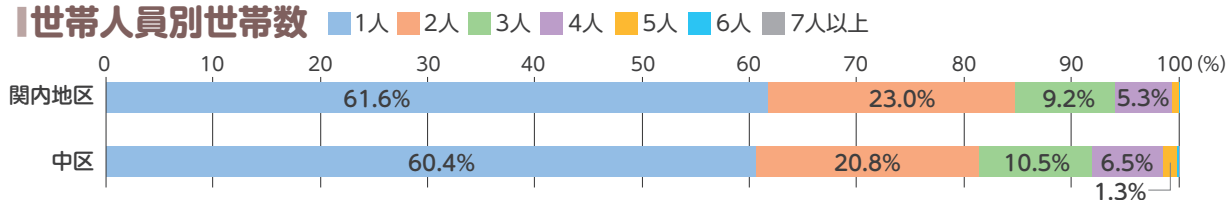
関内地区の統計データ

人口

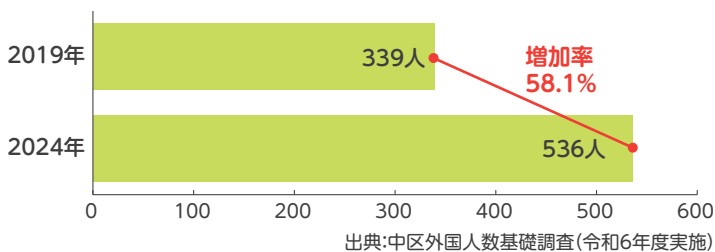
	合計	～14歳	15～64歳	65～74歳	75歳～
関内地区	7,421人	737人	5,405人	640人	639人
	100.0%	9.9%	72.8%	8.6%	8.6%
中区	155,313人	14,103人	104,356人	16,773人	20,081人
	100.0%	9.0%	67.1%	10.8%	12.9%



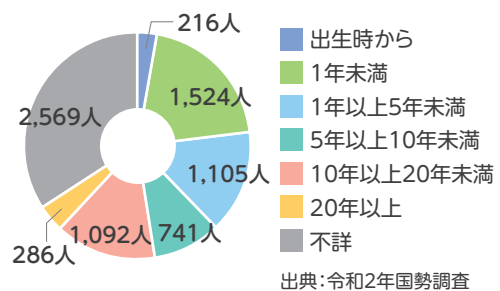
世帯人員別世帯数



地区内の外国人数の状況



住民の居住年数



人口、世帯数とも年々増加しており、平成30年に比べ約1.5倍となっています。15～64歳の人口割合が約7割を占め、65歳以上の割合は約17%と区内では一番少ない地区です。世帯構成をみると、6割が単身世帯で4人以上の世帯は約6%です。

住民の居住年数では出生時から住んでいる割合は少なく、他地域から流入してきた住民がほとんどであることがわかります。住民の多くはマンション、集合住宅に居住しており、今後も新たな集合住宅の建設により、人口、世帯数とも増加傾向が続くと思われます。地区内の外国人数についても増加傾向がみられ、現在その割合は1割を超えています。

出典記載のないものは「横浜市統計情報ポータル」(令和7年3月現在)より引用しています。

第5期計画はこのように作りました

地区社協や民生委員、主任児童委員、保健活動推進員などで構成する「関内地区中なかいいネ!推進会議」で、2か月に1度、話し合いながらつくりました。



A map of the Canton of Bern, Switzerland, with its various districts outlined in black. The Canton of Fribourg is highlighted in a solid dark red color, located in the northwestern part of the canton. A small white cross, the symbol of Switzerland, is visible within the red area.

- 翁町
- 富士見町
- 山吹町
- 寿町
- 三吉町の一部
- 千歳町
- 不老町
- 吉浜町
- 長者町
- 万代町
- 山田町
- 扇町
- 松影町



お三の宮例大祭
大神輿御巡行

1: あいさつで「つながる笑顔、はじける元気」、誰もが安心して暮らせるまちに【えん結び】

- 〈ことばのつながりプロジェクト〉声かけのきっかけづくりに、5か国語のあいさつカードを配布し、地域での声かけを促進します。スマホ翻訳も活用し、キラキラ笑顔のまちをつくっていきます。
- 〈住民参加型のイベントの充実〉ラジオ体操、ミニ夏まつり、わくわくランド、餅つき大会、埋地さろんなどの既存のイベントに、これまで以上に住民が関わりを持てる仕組みを構築していきます。
- 〈見守りネットワークの強化〉子どもも大人も外国人も、みんながつながり地域ぐるみの見守りをさらに強化し、顔の見える関係を広げます。

2: 身体も心も動き出す、みんな元気あふれるまちに【元気いっぱい】

- 〈「歩け歩け大会」〉スポーツ推進委員、青少年指導員が中心となって、魅力あるコースを設定し、健康づくりと地域の魅力再発見をはかります。
- 〈健康×スマホ教室〉地域の若者講師による、高齢者向けスマホ教室を開催します。社会福祉協議会とも連携して、コミュニケーションの場を広げ、健康と安心に繋がります。
- 〈スポーツチーム等との連携〉地域のプロスポーツチームやスポーツ施設(横浜BUNTAI、横浜武道館)と連携して、住民の健康増進をはかります。

3: 情報が隅々まで届き、誰もが関わりを持てるまちに【多文化共生、その他】

- 〈デジタル発信プロジェクト〉配布しているパンフレットや掲示板などへの二次元コードの掲載をはかります。若者や学生も一緒に地域メディアをつくりだします。
- 〈子どもや若者参画の推進〉南吉田小学校、横浜吉田中学校、関東学院大学、横浜ベルエポック美容専門学校などと引き続き連携していきます。
- 〈多文化共生の促進〉より多くの外国人住民に伝わるよう、イベント案内への多言語表記をこれまで以上に充実させ、参加への声かけを一層積極的に行います。
- 〈災害時の対策の強化〉防災訓練に子どもたちや外国人、ペットを飼育している皆さんにも積極的に参加してもらえ、環境やプログラム作りに一層力を入れて取り組みます。



防災訓練

これまでの計画(第4期計画)の振り返り

コロナ禍が明け、年間を通じて様々な地域イベントが実施できるようになりました。イベントを通してたくさんの子どもが参加し、それにつられて大人の参加も増え、外国籍の親子の参加も増えるなど、顔の見える関係づくりが進みました。地域の学校や公共団体、事業者などとの関係も強まり、連携して実施する取組が増えてきました。一方、イベントにさらに幅広い住民の参加を得るためには、各イベントの魅力を一層高めるほか、口コミはもちろんデジタルの力も使って積極的に情報発信を行う必要があります。また、イベントの時に集まるだけでなく、日常生活の中での関わりをこれまで以上に強めることで、災害時などでの効果的な助け合いにつなげていくことも重要です。



お三の宮例大祭大神輿御巡行
(横浜随一の大神輿)



埋地ミニ夏まつり
(いろんな団体がブースを出店します)



夏休みラジオ体操
(幅広い世代が集う地域の一大イベント)



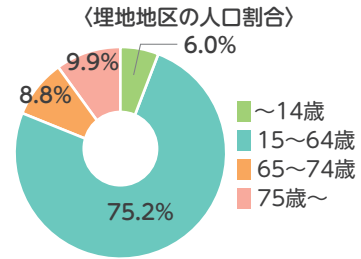
埋地地区はこんなまち！

今から約350年前、吉田勘兵衛氏による干拓事業により埋め立てられた地であることが、地区の名前の由来になっています。集合住宅と商業系ビルが林立し、交通の便が良く、暮らしやすい街です。ここ数年の間に、横浜武道館と横浜BUNTAIが開館し、関東学院大学が移転してくるなど、新たな魅力も加わりました。近年、単身世帯数、外国籍居住者数の増大などがあり、顔の見える関係づくりのための取組を進めています。

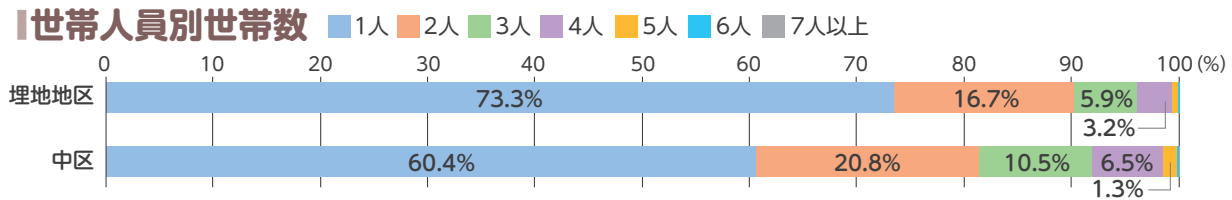
埋地地区の統計データ

人口

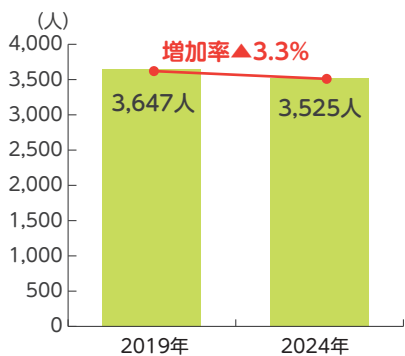
	合計	～14歳	15～64歳	65～74歳	75歳～
埋地地区	13,044人	784人	9,810人	1,157人	1,293人
	100.0%	6.0%	75.2%	8.8%	9.9%
中区	155,313人	14,103人	104,356人	16,773人	20,081人
	100.0%	9.0%	67.1%	10.8%	12.9%



世帯人員別世帯数



地区内の外国人数



出典：中区外国人数基礎調査(令和6年度実施)

人口は増加しています。15～64歳は約75%と多く、単身世帯の割合も高く、働き世代の単身世帯が多い地域です。

65歳以上の割合は区平均より低く推移していますが、65歳以上人口は増加しています。

外国人数はやや減少していますが、区内では人数が1番多く、他の地区と比べても多くの外国人が暮らしています。国籍別では中国が6割以上となっており、韓国、ネパール、フィリピン、ベトナム、台湾など、様々な国籍の人が暮らしています。

出典記載のないものは「横浜市統計情報ポータル」(令和7年3月現在)より引用しています。

第5期計画はどのように作りました

地区社協主催の懇談会や連合町内会での地域活動振り返り会を開催したほか、子どもを含め地域活動に積極的に関わっている人たちに個別に意見を聞くなど、様々な関係者からアイデアを募りました。それを連合町内会の作業部会が計画案にまとめた後、更にいろいろな人からコメントをもらい、最終版に練り上げました。



中区地域福祉保健計画

寿地区



- 扇町 ● 寿町 ● 長者町
- 松影町 ● 三吉町の一部

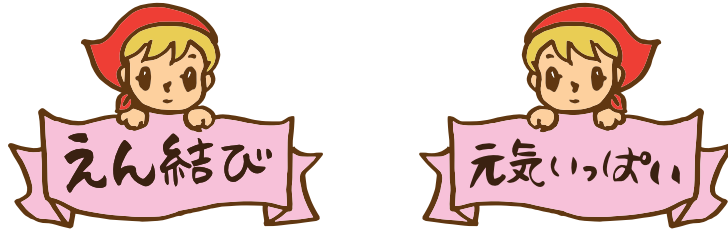
目指すまちの姿

寿に住んでいる、寿で育ったと、
堂々と言えるまち
～寿はたがいに受け止め合い支え合う～

寿町では子どもから高齢者まで、
生き生きと生活するために
多種多様な交流や取り組みが行われています。
寿町健康福祉交流センターに
集う人たちの絵でまちを表現しました。

寿町のアイドル コトブキンちゃん





1:住んでいる人、住んでいた人、働く人、訪れる人などまちに関わる人が人とのつながりを感じられるまちにします。

- まちの中で気軽に人とつながることが出来る場所や取組を多様にする事で、ひとりひとりが居心地の良さや楽しさを感じられるようにします。
- つながりの場の運営者同士もネットワークを持ち、取組情報を共有します。
- 寿地区に暮らす人のつながりを絶やさぬよう、久保山納骨堂や千秋の丘への慰霊を続けます。
- ゆめ会議等、寿地区に関わる子ども、高齢者、障害者、働く人の現状を共有し、支えあうまちづくりを進めます。

2:日常的な健康づくりを続けると共に、依存症・認知症等の病気の理解を広め、住みやすい地域づくりに取り組みます。

- ラジオ体操などの習慣的な健康づくりの取組を続けていきます。
- 依存症について回復のための支援に取り組みます。
- 認知症の理解と予防について啓発を進めると共に、認知症になっても暮らし続けられるまちになるよう、人とのつながりづくりを中心に取組を考えていきます。

3:様々な取組や役に立つ情報について地域の人に伝わるように工夫して発信します。

- 掲示板に寿地区での取組や健康のことなど役立つ情報を掲示します。
- 病気や障害、防災等の寿地区に関わる人が知っていると良い情報を集め共有していきます。
- 防災チラシなどを活用して、災害を自分ごととして捉え、備えられるように啓発を進めます。

これまでの計画(第4期計画)の振り返り

様々な行事で世代や分野を越えた交流ができました。防災について積極的に啓発活動を行いました。今後も強化していく必要があると考えています。コロナ禍以降、復活できていない活動は、現状に合わせて見直し、再開を目指します。

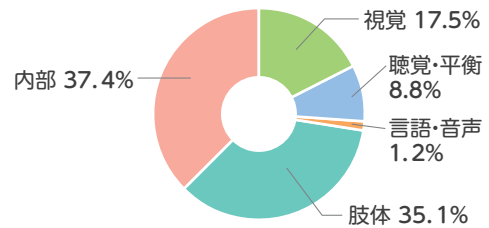
寿町の人やまちも少しずつ変わっていくことを感じるが増えました。皆で話し合っ、受け止め、安心して暮らせるまちを目指していきます。

寿地区の統計データ

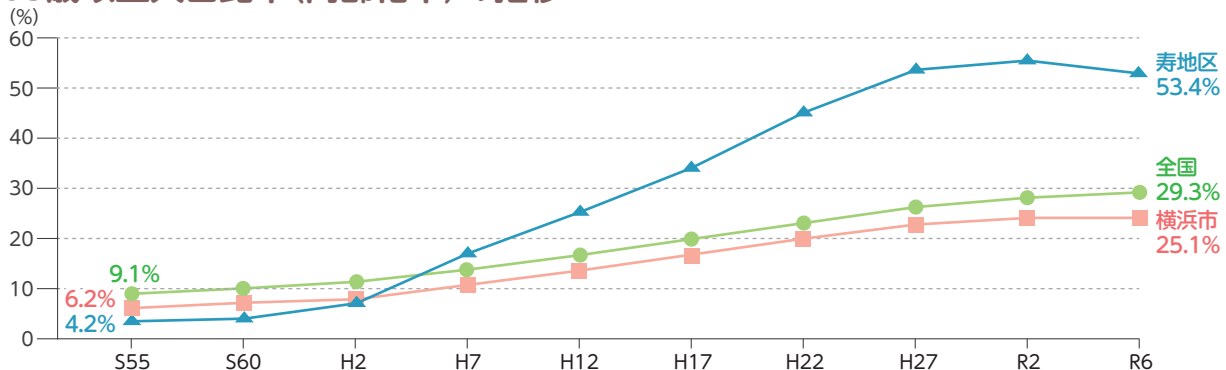
令和6年11月時点で簡易宿泊所に5,261人が宿泊しており、ほとんどが単身世帯です。

高齢化率は50%を超えており、そのスピードは全国、横浜市全体を大きく上回り、平成に入ってから急激に高齢化が進んでいます。高齢者の中でも75歳以上が5割弱を占めています。65歳以上で要介護認定を受けている住民は929人で、高齢者全体に占める割合は34.4%となっています。また、1～3級の身体障害者手帳保持者は241人です。要介護者や障害のある住民も多い「福祉ニーズの高いまち」といえます。

令和6年度 障害種別内訳の割合



65歳以上人口比率(高齢化率)の推移



令和6年度 要介護者数調査の結果

区分	要介護	要支援	計
5	40人		
4	119人		
3	206人		
2	314人	144人	
1	141人	50人	
計	820人	194人	1,014人(うち65歳以上は929人)

身体障害者数の推移

年度 等級	2	3	4	5	6
1級	110人	126人	124人	116人	115人
2級	65人	82人	82人	76人	74人
3級	63人	62人	65人	51人	52人
計	238人	270人	271人	243人	241人

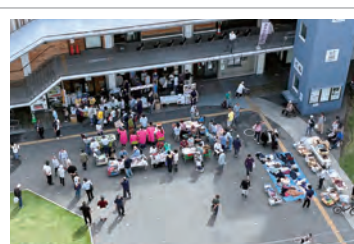
データ出典:「横浜市寿福祉プラザ相談室令和7年度業務概要」

第5期計画はこうに作りました

ゆめ会議を中心に話し合いをしてきました。ゆめ会議とは、寿地区地域福祉保健計画推進会議の愛称です。多くのことを話し合い、多くのつながり・学びが生まれる機会になっています。寿の元気いっぱいえん結びを推進しています。



ゆめ会議



寿センターマルシェ

中区地域福祉保健計画

石川打越地区



● 石川町 ● 打越

目指すまちの姿

住んでいる皆さんの支え合いや、
助け合いが活き、幸せだなと感じられるまち

みんなで仮装して
ハロウィンパーティ



1:様々な見守り活動を通し、地域の繋がりを広げ、健康寿命を伸ばします

- 見守り事業でもある活動を継続し、住民の繋がりづくり、健康づくりの機会を拡大していきます。
- 特定の担い手に頼る仕組みから、スポット的な参加や地域活動の参加者も担い手として活躍できる仕組みづくりを進めていきます。

2:地域の大人と子どもの交流から、大切な絆を作ります

- 観劇会、ラジオ体操への参加者が引き続き増加するように、内容や開催日などを工夫して実施していきます。
- 新たに立ち上がった子育て支援ネットワーク等とも連携し、地域での子育ての取組を拡大していきます。

3:防災は自助・共助・公助から

- 誰もが地域防災拠点を開設できるよう、防災訓練を繰り返し同じ内容で実施し、理解を深めていきます。
- 防災フェスタは地域住民の参加しやすさと学びの内容を検討し、他団体との連携も含めて、地域住民の防災への意識を高めます。

これまでの計画(第4期計画)の振り返り

コロナ禍を経てなお、【継続】することを意識して、地域の活動を推進しています。健康会食会、ふれあいサロン、スイーツ会などを定例的に開催することで、地域住民同士の見守り活動を推進することができました。生活支援を目的としたほっと石打の活動は、【地域をつなごうあいさつで】をテーマに活動を進めています。

そのほかにも、敬老観劇会やラジオ体操、バス旅行、ハロウィンパーティなど子どもから大人まで多くの方が参加できるような取組を、地区内の各団体が連携を取りながら推進しています。

「防災は自助・共助・公助から」をキーワードに、防災訓練や防災フェスタなどで、地域住民の防災意識の向上を図ってきました。

一方で、石川町駅を含む東西に細長い地域であるため、活動の開催場所によっては、参加する住民の偏りが見られました。地域全体で子育てを推進していますが、どの子が【石打っ子】かの把握が難しく、働きかけや把握に課題を感じます。

引き続き、見守りや防災訓練など地域全体での活動を推進していきながら、新たに立ち上がった子育て支援ネットワークなどとも連携し、「子どもは宝」の意識を醸成し、子どもたちが小さい時から地域とのつながりを感じられる取組を進めていきます。



石打ふれあいサロン



ハロウィンパーティ

不老町地域ケアプラザ



防災フェスタ



ラジオ体操



健康会食会

竹之丸地区センター

石川打越地区はこんなまち！

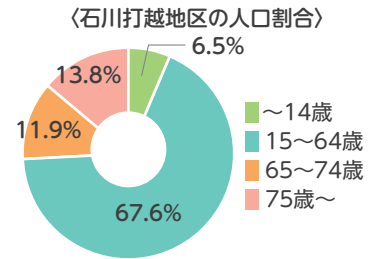
住宅地、商業地として発展をしてきた地区。通りを歩けば親しみやすい下町風情が感じられます。地域の結びつきが強く、地域活動が活発に行われています。地藏坂、牛坂、遊行坂など急こう配が多く、坂のまちの一面もあります。



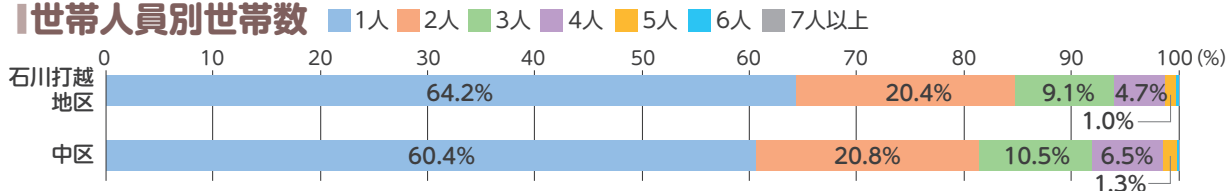
石川打越地区の統計データ

人口

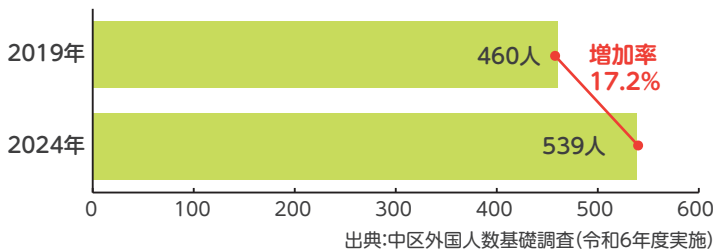
	合計	～14歳	15～64歳	65～74歳	75歳～
石川打越地区	4,419人	291人	2,989人	529人	610人
	100.0%	6.5%	67.6%	11.9%	13.8%
中区	155,313人	14,103人	104,356人	16,773人	20,081人
	100.0%	9.0%	67.1%	10.8%	12.9%



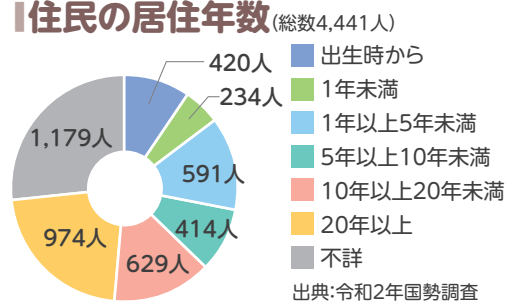
世帯人員別世帯数



地区内の外国人数の状況



住民の居住年数



人口は減少傾向にあり、14歳以下の割合は区平均より低くなっています。65歳以上の割合は区平均より高くなっています。

居住年数を見ると20年以上の割合が高く、長く地域に住んでいる人が多い地域です。

外国人数は増加しており、全体の1割以上を占めていて、14歳以下の人口より多くなっています。

出典記載のないものは「横浜市統計情報ポータル」(令和7年3月現在)より引用しています。

第5期計画はこうに作りました

石川打越地区では自治会町内会、民生委員・児童委員、地区社協等の地域で活動されている方の交流会を開催しました。

第4期で推進されたこと、取組の成果等を共有し、意見交換を行い、計画にまとめました。



中区地域福祉保健計画 第2地区



目指すまちの姿

国際色豊かで、多様な文化と笑顔が交差する
高齢者も子育て世代も住みやすい
きれいなまち

- 新山下一丁目
- 新山下二丁目
- 新山下三丁目
- 元町
- 山下町

ふれあいサロン 米国ジョージメイソン大学の 学生との国際交流



1: 「えん結び」

声かけ合って支えあう、子どもから高齢者までずっと住みたいまちにします。

- ふれあいサロンを毎週開催し、敬老会やクリスマス会などの季節の行事、音楽演奏や工作などの参加型プログラムなど、参加者が充実した時間を過ごせるよう、内容を工夫しながら、顔の見える関係づくりを続けます。また、保育園児との世代間交流や、米国の大学生との国際交流にも取り組みます。
- ひとり暮らし高齢者見守り世話人会では、見守りを通じた地域のセーフティネットづくりに取り組みます。
- 夏祭りやおとなりサンデーなど、地域みんなが楽しく、世代間交流や多文化交流ができる場を大切にします。
- 第2地区連合町内会の定例会では、第2地区内にある新山下地域ケアプラザ、中区障害者支援拠点みはらしポンテ、中区後見的支援室らるごの3つの機関も参加し、情報交換しながら、顔の見える関係づくりを続けます。



ふれあいサロン(敬老会)

2: 「元気いっぱい」

健康づくりの取組で、みんなが笑顔で活気あふれるまちにします。

- 健康麻雀や太極拳、ラジオ体操など、地域みんなが笑顔いっぱいで健康づくりに取り組みます。
- ふれあいサロンでは、運動にもなる盆踊り(中区みなと音頭、山下町音頭、炭坑節など)を、夏祭り本番を目指し、年間を通じて練習し、踊る人も観る人も笑顔でいっぱいにします。

3: 「きれいなまち」

地域みんなが、きれいで安全なまちにします。

- 第2地区花いっぱい運動では、みはらしポンテの皆さんと一緒に、チューリップの球根植付けや水やりなどのお世話を続け、新山下運河沿いを、花いっぱい、地域みんなが通るのが楽しい場所にします。
- 第2地区内にある学校の子どもたちも参加する中華街クリーンアップや公園愛護会、ハマロード・サポーターなど、地域の清掃活動を通じて、きれいで安全な、住みやすいまちにします。



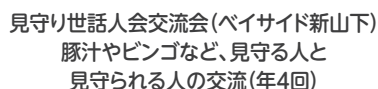
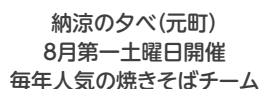
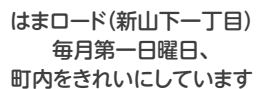
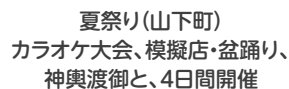
これまでの計画(第4期計画)の振り返り

できることから、みんなで育てる地域の絆！

毎週金曜日開催のふれあいサロンでは、コロナ禍でも、アイデアを出し合い、内容を工夫しながら継続しました。ひとり暮らし高齢者見守り世話人会の活動の充実や、夏祭り・地域清掃など子どもから高齢者まで多世代がふれあう活動、みはらしポンテの皆さんと一緒に取り組んだ花いっぱい運動など、様々な活動を通じて、地域の絆を育みました。また、健康講座やラジオ体操など、まちぐるみで健康づくりに取り組みました。



第2地区花いっぱい運動(新山下運河沿い)

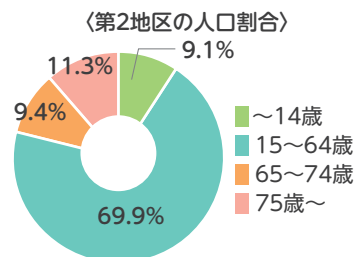


横浜元町ショッピングストリートや横浜中華街、山下公園などの観光地があり、開港の歴史や国際色豊かな文化が息づき、外国人も多く暮らしています。新山下運河沿いは、地域の憩いの場です。地域では多世代の交流も盛んで、夏祭りなどでは子どもたちも活躍しています。ふれあいサロンでの高齢者の見守りや、健康づくりの活動も活発に行われています。

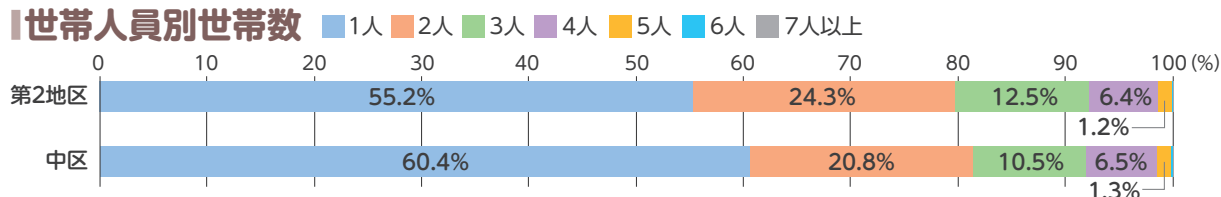
第2地区の統計データ

人口

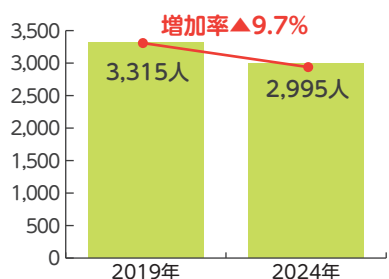
	合計	～14歳	15～64歳	65～74歳	75歳～
第2地区	17,776人	1,630人	12,438人	1,685人	2,023人
	100.0%	9.1%	69.9%	9.4%	11.3%
中区	155,313人	14,103人	104,356人	16,773人	20,081人
	100.0%	9.0%	67.1%	10.8%	12.9%



世帯人員別世帯数



地区内の外国人数



出典:中区外国人数基礎調査(令和6年度実施)

人口は減少傾向にあります。65歳以上の割合は区平均よりは低いですが、65歳以上の人口が増加しています。単身世帯が占める割合は区平均より低いですが、全世帯の約半数が単身世帯となっています。

外国人人口は減少しています。国籍別にみると、中国が7割以上となっています。次いで韓国、台湾が多くなっています。

出典記載のないものは「横浜市統計情報ポータル」(令和7年3月現在)より引用しています。

第5期計画はこのように作りました

「第2地区中なかいいネ!推進会議」を偶数月に定例開催し、地区社協メンバーを中心に話し合いを重ねました。

第4期計画で良かったことや今後やりたいことなど、4つのグループに分かれ、グループワークで振り返りました。その結果も踏まえ、一人一人が思い描く目指すまちの姿について意見交換しながら、第5期計画をつくりました。



中区地域福祉保健計画

第3地区



目指すまちの姿

みんなが地域福祉にかかわり、
つながりを持って助け合えるまち

- 上野町
- 竹之丸
- 西之谷町
- 妙香寺台
- 滝之上
- 柏葉
- 立野
- 本牧緑ヶ丘
- 麦田町
- 山手町の一部
- 鷺山
- 仲尾台
- 豆口台
- 大和町

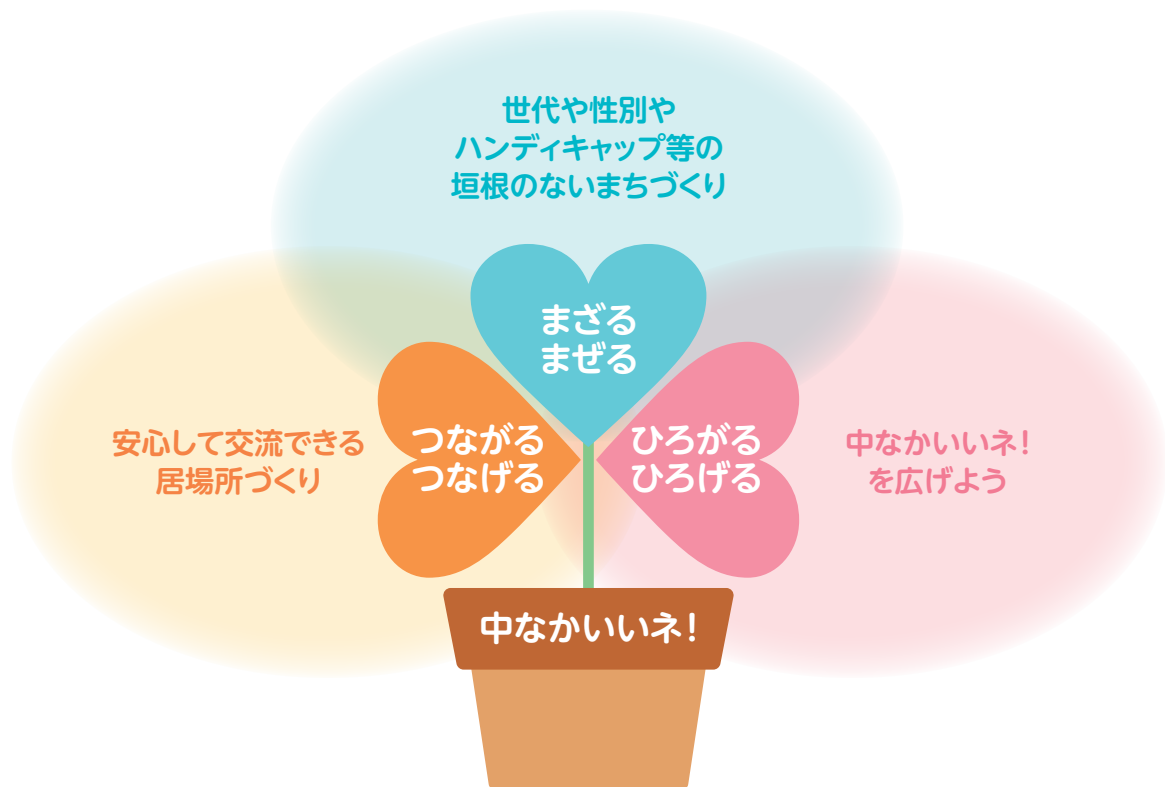
第3地区 元気づくりコンサート



中なが
いいネ!

『第3地区元気づくりコンサート』
〈出演団体〉立野小学校 合唱部／立野小学校 金管バンド部／仲尾台中学校 吹奏楽部／
スフェールアンサンブル／横浜緑ヶ丘高校吹奏楽部
写真は横浜緑ヶ丘高校吹奏楽部です。

第3地区の取組目標



これまでの計画(第4期計画)の振り返り

お楽しみ会(奇数月第3水曜日)

高齢者の健康と親睦を目的として開催。コロナ禍以降はお弁当の持ち帰りが増えました。

各回30～40名の方にご参加いただいています。

ふれあいサロン(毎月第2木曜日)

高齢者の交流、つながりの場として、毎回工夫を凝らしたプログラムを企画し、皆さんの笑顔が印象的でした。

むぎた子育てサロン(毎月第4水曜日)

参加者も増えて、母親のカフェスペースも作り、育児情報交換の場所になってきました。

第3地区元気づくりコンサート

“音楽で町をつなごう”

地区内の小・中・高の合唱や吹奏楽が中心の演奏で、約500名の地域の皆さん方に『シンフォニーで心を奏でる』と好評でした。

ふらっと麦田ストリートコンサート

誰もが気楽に参加できるコンサート。世代を超えて、多くの来場者が見えました。

困りごと引き受け隊

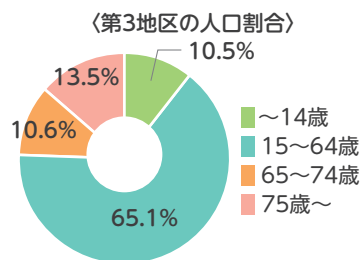
毎年相談件数が増えていますが、担い手不足もあり、メンバー減少が課題です。

組織が大きいので、友愛活動も盛んに進めることができました

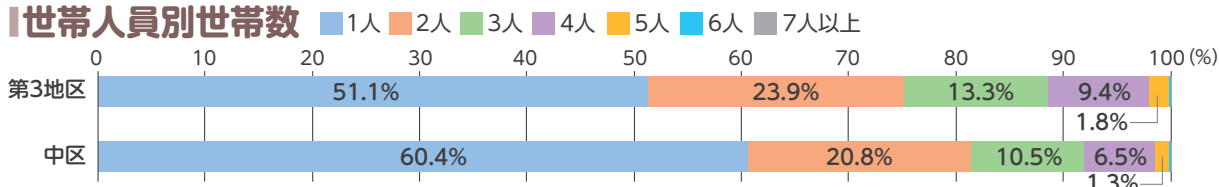
第3地区の統計データ

人口

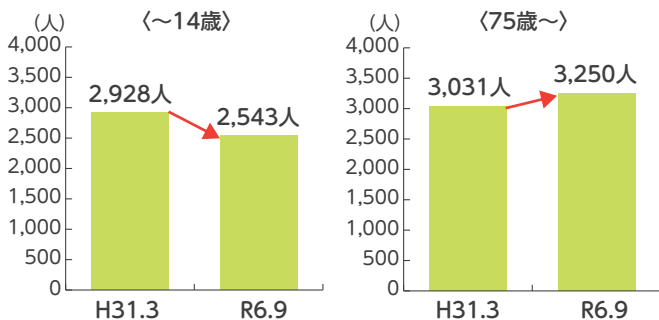
	合計	～14歳	15～64歳	65～74歳	75歳～
第3地区	24,011人	2,543人	15,651人	2,567人	3,250人
	100.0%	10.5%	65.1%	10.6%	13.5%
中区	155,313人	14,103人	104,356人	16,773人	20,081人
	100.0%	9.0%	67.1%	10.8%	12.9%



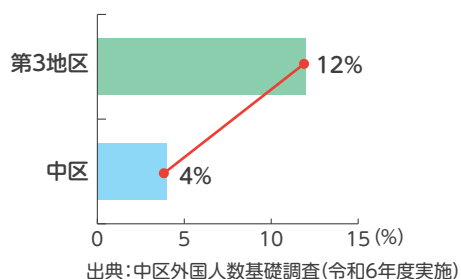
世帯人員別世帯数



人口の推移



外国人のうち 米国・英国出身者の割合



人口、世帯数ともに区内で2番目に多く、2人以上の世帯割合が他地区より高いです。

5年前に比べ、14歳以下の人口が大きく減少しているのに対し、特に75歳以上の高齢者が増加しています。

住民のうち、外国人の割合は約11%で、外国人のうち約12%が米国・英国出身者です。他地区に比べて、米国・英国出身の外国人の割合が高いことが特徴です。

出典記載のないものは「横浜統計情報ポータル」(令和7年3月現在)より引用しています。

第5期計画はこうに作りました

第3地区の未来を創る！

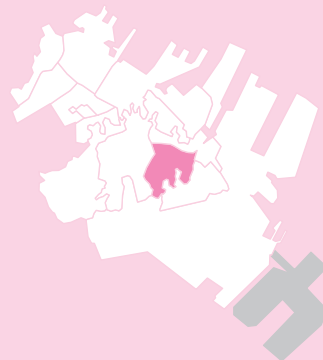
地域で活躍する様々な団体の代表者で第5期計画の策定のために会議を行い、活発な意見交換を行いました。

地区に住む皆さんが自分事として一緒に取り組めるように、分かりやすい計画を目指しました。



中区地域福祉保健計画

第4地区南部



目指すまちの姿

声がかけあえるまち
第4地区南部

- 本郷町 ● 本牧町 ● 本牧満坂
- 本牧荒井の一部



4南元気なまち 秋祭り「昔遊び」
中本牧コミュニティハウス

1: もっと地域と活動を知って、 参加してもらって、 地域のつながりを作ります。

- マリンFMやSNSなど様々な情報媒体を活用し、歴史、文化、名所、伝統、豊かな自然などたくさんの魅力や地域情報を伝えていきます。
- 地域活動の担い手が減っている中で、負担感なく活動できるよう、方法を工夫して、交流する機会を持ち続けていきます。
- 活動している団体同士が連携し、お互いの利点をいかした活動をしていきます。
- こどもの活躍が見られる機会をつくり、若い世代も地域に関心をもてるようにします。



2: 誰もが声をかけ合えるまちにしていけます。

- 住民や地元企業を対象に認知症の理解を深めてもらい、認知症になっても暮らしやすいまちにしていけます。
- より身近な範囲での住民同士のつながりづくりを目指し、サロン等を行います。
- 企業と住民が連携し、ゆるやかに見守る地域づくりに取り組みます。
- 防災訓練やイベント等に障害のある方や外国人などいろいろな人が参加できるよう声をかけます。
- 身近な生活環境を良くするよう声をかけあって考えていきます。



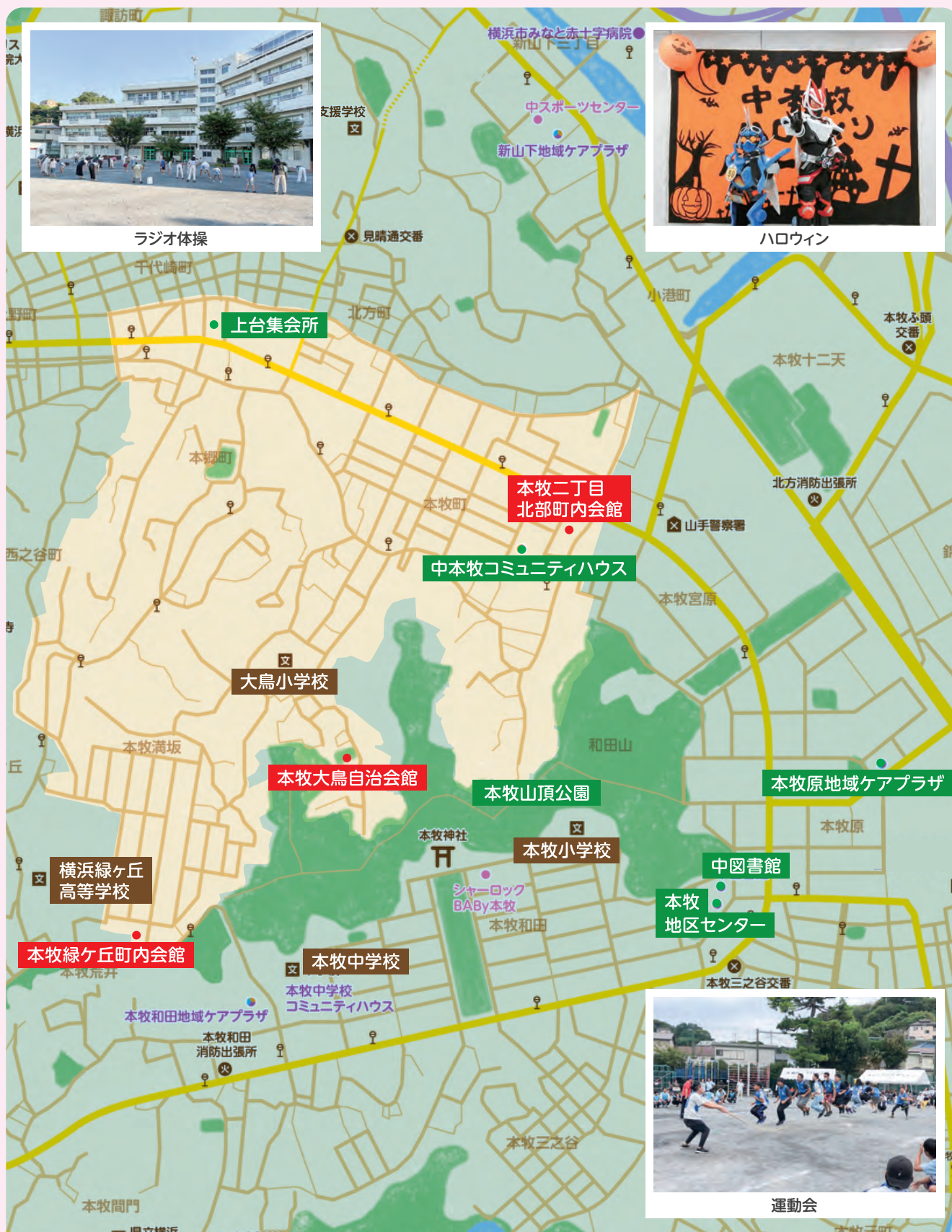
3: 一人一人が自分に合った 健康づくり・つながりづくりを進めます。

- 多世代が参加できるふれあいウォークや大運動会等で、健康づくりを進めます。
- 日ごろからウォーキングやラジオ体操等、身近な場所で、誰もが健康づくり・つながりづくりに参加できる機会をつくりまします。



これまでの計画(第4期計画)の振り返り

こどもから高齢者まで幅広い世代が参加するイベントを通して、多世代のつながりが深まりました。横浜マリンFMやSNSなどの様々なツール、ミニサロンや食事会の集まりの場を通して必要な情報を必要な人に提供することができました。より身近な範囲で、地域に密着したミニサロンや健康教室、防災の取組が進み、近隣住民のつながりが深まりました。4期ではコロナ禍も経験しましたが、できるだけイベント・行事を再開し、つながりをもてるようにしてきました。



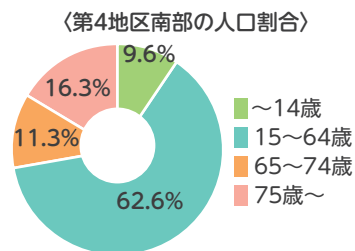
第4地区南部はこんなまち！

開港前からの歴史と戦後のアメリカ文化の影響を受けた独特の本牧文化が形成されています。旧路面電車の通っていた本牧通りには現在では市営バスが頻繁に通リ、住民の主要な交通機関となっています。また、急な坂や階段の多い住宅地と平地の商店街エリアからなり、住民が住んでいる場所の大半は丘陵地となっており、移動に課題が生じることもあります。住民同士のきずなは深く、地域でのお祭りやイベントが盛んに行われています。

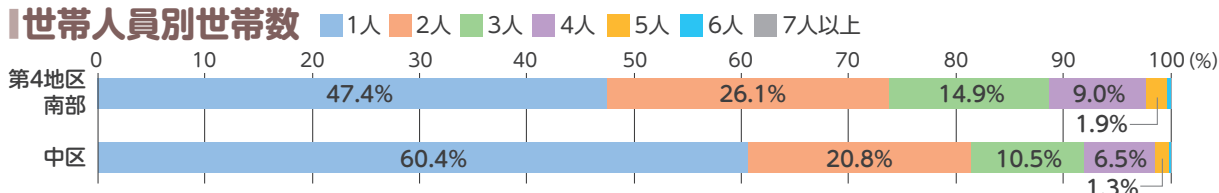
第4地区南部の統計データ

人口

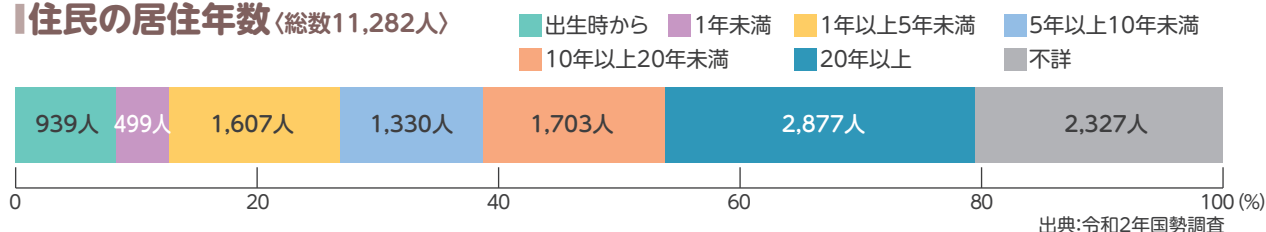
	合計	～14歳	15～64歳	65～74歳	75歳～
第4地区南部	11,250人	1,085人	7,045人	1,281人	1,839人
	100.0%	9.6%	62.6%	11.3%	16.3%
中区	155,313人	14,103人	104,356人	16,773人	20,081人
	100.0%	9.0%	67.1%	10.8%	12.9%



世帯人員別世帯数



住民の居住年数〈総数11,282人〉



人口の約3割が高齢者であり、中区の平均と比較してもやや高い割合となっています。世帯人員は半数以上が2人暮らし以上となっており、中区の平均と比較すると割合が高く、複数人世帯が多いことがわかります。

住民の居住年数を見ると、20年以上という割合が高く、長くこの地区に住み続けている住民が多いことがわかります。

出典記載のないものは「横浜市統計情報ポータル」(令和7年3月現在)より引用しています。

第5期計画はこのように作りました

「本牧4南元気なまち運営委員会」でグループワークやアンケートを実施し、地域活動を振り返りました。



中区地域福祉保健計画

第4地区北部



目指すまちの姿

こどもたちの「ふるさと」になるまち
～安心して住みやすい誇れるまち～

- 北方町一丁目
- 千代崎町一・二・三丁目
- 千代崎町四丁目
- ビューコート小港
- 諏訪町
- 北方町二丁目
- 小港町一丁目
- 小港町二・三丁目
- 本牧十二天



第4地区北部の取組目標

1 えん結び

参加者も担い手も
楽しみながら仲間をつくり、
ゆるやかに見守り・
支えあえる関係を
作っていこう



防災訓練

- 日ごろから声を掛けあい、助けあえる関係を作り、災害にも強いまちを作ります。
- 行事や活動を通じて、仲間づくりや見守りあえる居場所づくりを続けます。
- 認知症の方や障害者、その家族への理解を広めていきます。
- 積極的に情報収集し、皆で学び合うことを続けます。

2 元気いっぱい

気軽に誰もが参加できる
地域活動を通して、
健康で元気なまちづくりを
楽しみながら進めよう



健康チェック

- 健康チェックやウォーキングなど、楽しみながら健康を高める活動を広げていきます。
- 趣味や特技を活かして活動できる場をつくりまします。
- みんなで声を掛け合い、町内美化に取り組まします。

3 こどもたちは宝もの

こどもたちが安心して
暮らしやすいまちにしよう



子育てサロンひだまり

- 多世代交流を深め、顔の見える関係づくりを進めます。
- 子育て世代が交流できる活動を続けます。
- 身近な見守り活動で、こどもたちの成長をゆるやかに見守ります。

これまでの計画(第4期計画)の振り返り

1 えん結び

高齢者サロンやサークル活動などのつながりづくり、おはやしやもちつき、夏まつりなどの行事、防災訓練や清掃活動などの地域活動等を積極的に行ってきました。その他、民生委員がキャラバンメイトとして認知症の啓発活動を行ったり、地域の特性に合わせた防災の勉強会を行ったりと楽しみながら活動の幅を広げてきました。

コロナ禍で活動が難しい時期もありましたが、工夫を重ねて、第4地区北部らしく活動を継続することができました。



もちつき

2 元気いっぱい

健康チェックやウォーキング、フレイル予防など、地域の方々が元気に過ごせるよう、健康づくりの活動を楽しみながら積極的に行ってきました。

3 こどもたちは宝もの

民生委員を中心に、子育てサロンでの見守りや、登下校時の安全見守りなど、地域全体でこどもたちの成長を見守ってきました。「おとももこどもと一緒に遊ぼう!」といったイベントも開催し、多世代が交流できる場づくりにも力を入れています。



おとももこどもと一緒に遊ぼう!



第4地区北部はこんなまち！

この地域は、丘陵地から海辺の埋立地まで東西に広がっていて、昔ながらの雰囲気が残る住宅街やマンションが並んでいるよ。長年住み続けている人が多く、地域のつながりが深い場所だけど、最近では新しく引っ越してくる人も増えていて、こどもの数も少しずつ増えてきているよ。だから、こどもたちがこの地域を「自分のふるさと」と感じられるように、こどもを中心としたイベントに力を入れているんだ。

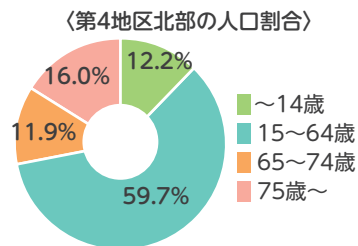
また、外国から来た人たちも地域の一員として自然に溶け込んでいて、多様な文化が共存していることも、この地域の大きな特徴だよ。



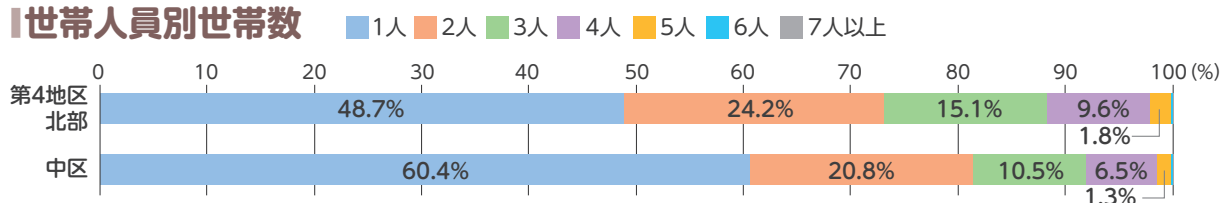
第4地区北部の統計データ

人口

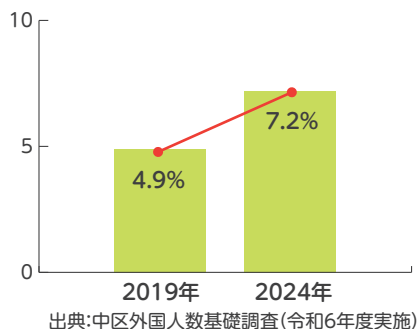
	合計	～14歳	15～64歳	65～74歳	75歳～
第4地区北部	6,542人	803人	3,907人	782人	1,050人
	100.0%	12.2%	59.7%	11.9%	16.0%
中区	155,313人	14,103人	104,356人	16,773人	20,081人
	100.0%	9.0%	67.1%	10.8%	12.9%



世帯人員別世帯数



外国人割合の推移



高齢者(65歳以上)の割合は約28%で、中区平均(約23%)を大きく超えています。高齢者のみでみると、75歳以上の割合が大きいです。

また、外国人の割合が増えており、多様な文化が行きかうまちです。中国、韓国に続き、インドや米国籍の人が多いのが特徴です。

人口は減少傾向でしたが、この5年で増えてきており、転入者の増加が見られます。それに伴い、14歳以下の子どもが増加傾向で、少子高齢化の中、子どもたちが増えていることがわかります。

出典記載のないものは「横浜市統計情報ポータル」(令和7年3月現在)より引用しています。

第5期計画はこのように作りました

第4地区北部では、自治会町内会、民生委員・児童委員、地区社協、保健活動推進員、消費生活推進員等が集まり、地区別推進会議を開催しました。

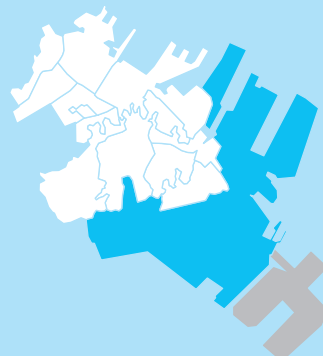
地域ごとに分かれてグループワークを行い、今後、地域で継続していきたい活動や新たに取り組んでいきたい活動、地域で大切にしたい場所などについて意見交換を行い、計画にまとめました。

第5期計画では、これまで行ってきた第4期計画の活動を継続しながら、地域の状況やニーズに合わせて、積極的に情報収集し、皆で学び合い、新しい取り組みも加えていくことになりました。



中区地域福祉保健計画

本牧・根岸地区



目指すまちの姿

未来に向けて
誰もが安心して過ごせるまち
本牧・根岸

- 根岸町 ● 根岸加曽台 ● 池袋
- 矢口台 ● 本牧間門 ● 本牧荒井の一部
- 本牧三之谷 ● 本牧大里町 ● 本牧元町
- 本牧原の一部 ● 錦町 ● かもめ町
- 千鳥町 ● 豊浦町 ● 本牧ふ頭
- 南本牧



大運動会



スプリングコンサート



お馬流し

目 標

取 組

〈区計画の視点〉えん結び

- **誰もが気軽に参加でき、交流することができる場や機会を増やします。**
 - **地域のつながりを深め、住民同士で緩やかな見守りができるまちを目指します。**
- 引き続き様々なイベントを実施し、多世代交流や新たな出会いが生まれる地域にしていきます。
 - 子ども達の企画・実施を、大人がサポートする機会を検討します。
 - 声かけ、あいさつが飛び交う雰囲気を大切にします。また、SNSの活用を進めつつ、人と人がつながる地域づくりを今後も心がけます。

〈区計画の視点〉元気いっぱい

- **誰もが健康に暮らし続けることができるような取組を進めます。**
 - **災害時に地域住民が力を合わせて対応することができる地域をつくります。**
- ラジオ体操など、世代を超えた健康づくり活動を今後も実践し、孤立しない、多世代交流が当たり前と思える地域にしていきます。
 - 障害者、高齢者、子育て世帯などの防災訓練への参加が増えるよう工夫し、日ごろから助け合いのできるまちを目指します。

これまでの計画(第4期計画)の振り返り

【えん結び】

SNSの活用や参加対象を広げる等、実施方法や周知方法を工夫しました。その結果、イベント参加者が増えました。これからも、デジタル媒体を活用して、さまざまな世代に工夫して地域の情報を発信していきます。

【元気いっぱい】

ラジオ体操や大運動会には、たくさんの人が参加してくれました。多世代の交流がより促進されるよう、今後も、各地域ごとの特性に応じた、誰もが参加のしやすいイベントを開催していきます。

また、小学生・保護者を交えた防災訓練を実施するなど、住民の防災意識の向上につなげることができました。



本牧・根岸地区はこんなまち！

古い伝統があり、おしゃれな町並みの閑静な住宅街と、埋立地の埠頭や工場、製油所などがある地区だよ。大規模マンションには若い世代が多く、様々な世代の活動や交流が活発に行われているんだ。

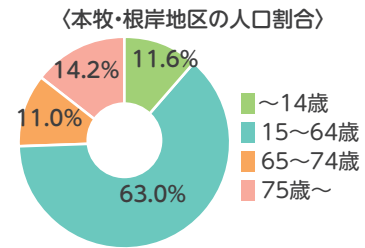


本牧・根岸地区の統計データ

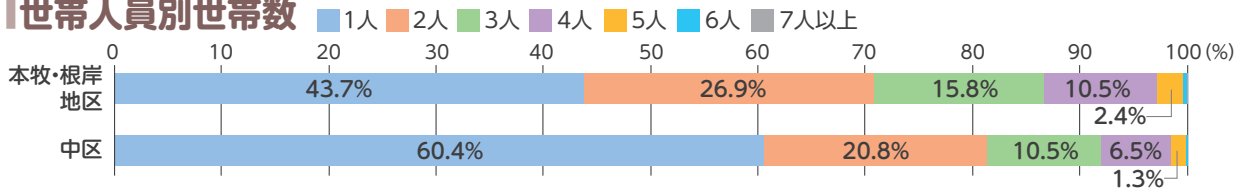
中区全体と比較すると高齢者、子どもの割合が高くなっています。また、単身世帯よりも2～4人世帯が多い地域です。未就学児の保護者を対象に実施したアンケート調査では、ご近所づきあいは7割程度(あいさつや立ち話もするようなお付き合い)、3割の人が地域とのつながりが強いと感じているようです。

人口

	合計	～14歳	15～64歳	65～74歳	75歳～
本牧・根岸地区	26,585人	3,092人	16,767人	2,939人	3,787人
	100.0%	11.6%	63.0%	11.0%	14.2%
中区	155,313人	14,103人	104,356人	16,773人	20,081人
	100.0%	9.0%	67.1%	10.8%	12.9%

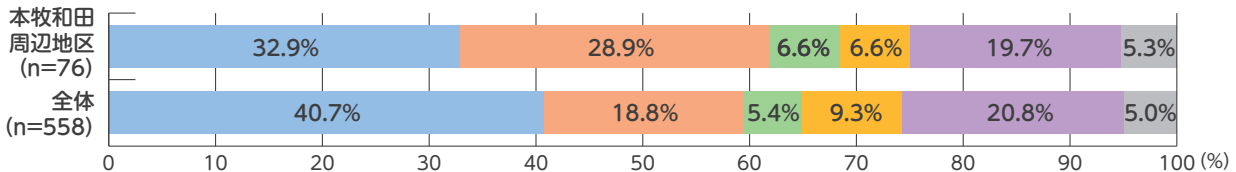


世帯人員別世帯数

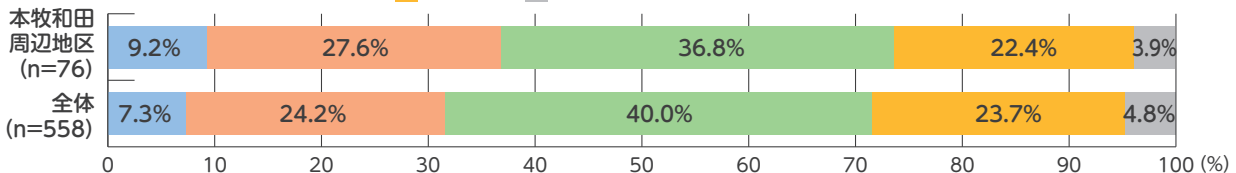


中区子育てニーズ調査(令和6年)より ※未就学児の保護者が対象

〈近所とお付き合いがあるか〉 挨拶程度はする 立ち話程度はする 家を訪ねる 困ったときに助け合う 親しい人はいない 無回答



〈地域の人とのつながりの強さ〉 そう思う どちらかというと思う そう思わない 思わない 無回答



出典記載のないものは「横浜市統計情報ポータル」(令和7年3月現在)より引用しています。

第5期計画はどのように作りました

本牧・根岸地区では、町内会ごとに第4期計画の振り返りや、第5期計画策定に向けた検討を行いました。また、「高齢」「障害」「子ども」それぞれの分野で、地域の方と関係機関・団体との地区懇談会を実施しました。それらの意見を踏まえ、地区社協理事会内で、第5期計画をつくりあげました。

地区懇談会では、活発な意見交換が行われ、「まずは地域での声かけ・あいさつから始めよう」といった声がありました。今後も、このような懇談会を通して、顔の見えるつながりを大切にしていきたいです。



中区地域福祉保健計画

第6地区



目指すまちの姿

自然と歴史の調和・心あたたまる絆・
「このまちが大好き」をつないでいく

- 大芝台
- 寺久保
- 根岸台
- 滝之上
- 大平町
- 西竹之丸
- 簗沢
- 山手町の一部
- 塚越
- 根岸旭台
- 山元町



第6地区の取組目標

目 標

**1:魅力的なイベントや場所へ
みんなで参加、つながりを
作ってもっと楽しめます**

地域の活動や根岸森林公園などの特色ある場所を通じて、みんなが幅広い交流を図り、誰もがふれあう町にします。

**2:世代を超えて
地域のつながりを
育み続けます**

お祭りや運動会、その他のイベントを活用した地域交流を推進します。子どもも大人も共に地域の課題を考えます。

**3:つながりを大事にして、
誰もが安心して
過ごせる町にします**

互いに助け合い、みんなが環境に配慮した安心・安全に暮らせる町にします。

これまでの計画(第4期計画)の振り返り

- 第6地区運動会や箕沢地域ケアプラザまつり(みのさわデー)、盆踊りが開催され、多くの世代のふれあう場となりました。また、子ども中心の企画「リトルシェフキッチン」を開催しました。
- コロナ禍を経て作成したイベントカレンダーについて、従来の紙面版に加えWEB版の発信を行い、地域活動を広く周知しました。
- 「ふれあいサロン山元」やその他の町内会で行われている地域交流の場を継続するとともに、「元気プラスノルディック」などのウォーキング、ラジオ体操、介護予防講座等の健康づくりを進めました。
- 高齢者の詐欺被害防止のため、警察署や高校の演劇部等と連携し、防犯をテーマにした演劇を上演しました。
- 根岸森林公園は「まちの宝」。森林公園を活用して「まち全体」の活性化に取り組んできました。
- 子どもから大人まで、みんなで「防災」、「地域の安全」、「まちの美化」に取り組んできました。





第6地区はこんなまち！

歴史ある丘陵地帯に形作られた地域であり、根岸森林公園を中心に緑豊かで自然と歴史が調和する町です。昔ながらの下町の良さを生かした地域住民の助け合いの精神が息づいており、地域イベントやふれあいの場も多くあります。坂道や階段が多い一方で、富士山や港の見える丘公園などが見える美しい景観が魅力です。

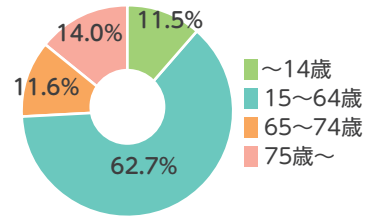
住民の声を生かしたまちづくりを進めています。

第6地区の統計データ

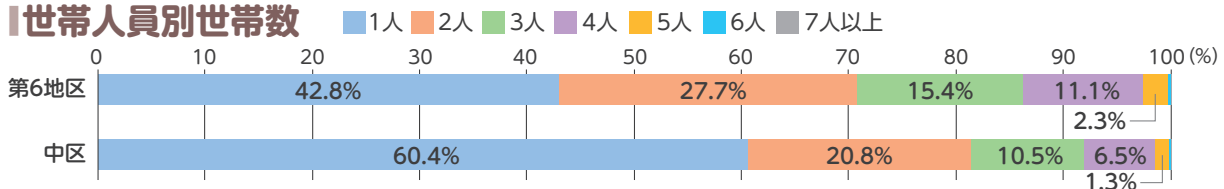
人口

	合計	～14歳	15～64歳	65～74歳	75歳～
第6地区	17,182人	1,976人	10,780人	2,005人	2,421人
	100.0%	11.5%	62.7%	11.6%	14.0%
中区	155,313人	14,103人	104,356人	16,773人	20,081人
	100.0%	9.0%	67.1%	10.8%	12.9%

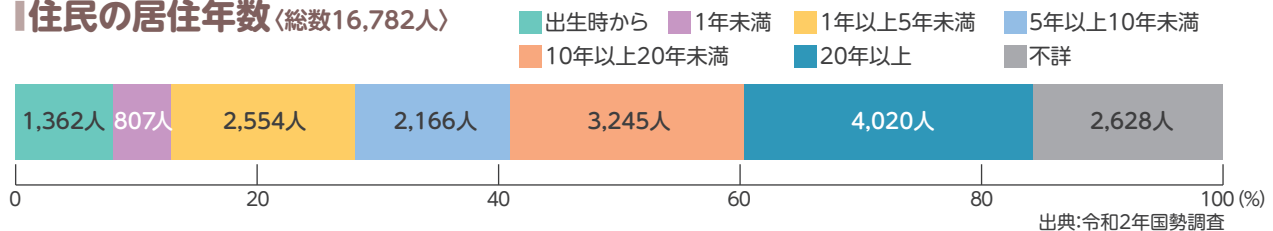
〈第6地区の人口割合〉



世帯人員別世帯数



住民の居住年数(総数16,782人)



人口は区内で3番目に多い地区ですが、5年前に比べ緩やかに減少しています。14歳以下・15～64歳の人口割合はともに減少していますが、65歳以上の人口割合は増加しており、高齢化率が高くなっています。

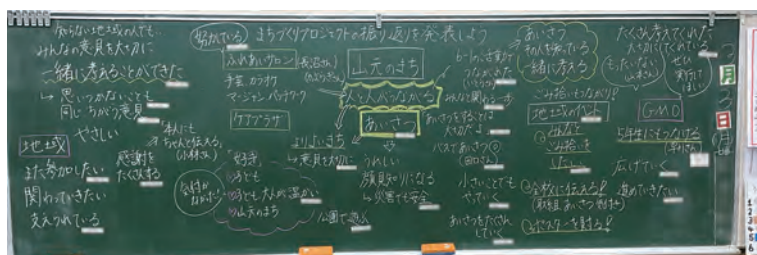
対して、高齢者のみの世帯の割合は区内で2番目に低く、一人暮らし世帯の割合も他地区と比べて低くなっています。

また、居住年数は20年以上の人がもっとも多く、長く住み続けている人が多いことが特徴です。

出典記載のないものは「横浜市統計情報ポータル」(令和7年3月現在)より引用しています。

第5期計画はどのように作りました

第6地区では、連合町内会、地域の各種団体・施設等で組織された「元気づくり推進協議会」と協議会をサポートする「町づくりプロジェクト」を中心に計画策定に取り組みました。作成にあたり、「第6地区をみんなでつくる」計画となるよう、地域の団体等へのヒアリング(計7団体延べ45人)やアンケート(111件回答)、地元の小学校とのワークショップを実施しました(50人参加)。その結果を踏まえ、「元気づくり推進協議会」で決定しました。



中区地域福祉保健計画

新本牧地区

目指すまちの姿

新本牧は「あいさつ」でまちづくり
～広げよう!つなげよう!「人の和」～



- 本牧宮原
- 本牧和田
- 和田山
- 本牧原の一部

自転車安全教室



防災訓練

1: 子どもを中心に地域を盛り上げ、 困りごとを速やかに察知できる関係を作っていきます。

- 地元の小中学校の行事や取組みに関心を持ち、子どもたちとの交流を深め、街中でも気軽に「あいさつ」できる環境を目指します。
- 中学校の朝の「あいさつ」運動に参加し、顔の見える関係を作ります。
- 高齢者(食事会・サロン等)の集う場に子どもたちが参加できる機会を増やします。

2: 交流の場を充実し、 多世代に渡って助け合えるまちを目指します。

- 地域にある施設や団体、企業と協力関係を深め、地域での参加の輪を広げていきます(施設・団体・企業の行事に積極的に共同参加する)。
- 各自治会のラジオ体操を充実し、健康づくりをしながら様々な世代交流を深めます。
- 夏の本牧神社例大祭(お馬流し)を通じて住民の交流を促進します。

3: 環境面で住みやすい街づくりを通して、 住民が健康で安全に暮らせるようにします。

- 各自治会の清掃活動を充実させまち全体をきれいにします。
- 地区や自治会主催の防災訓練により多くの住民の参加を促していきます。
- 警察や自転車販売店と協力し自転車マナー向上&路上駐車減を目指した広報活動を行います。

これまでの計画(第4期計画)の振り返り

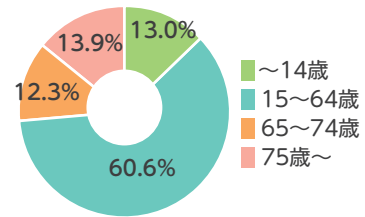
- あいさつ運動を継続して実施し、地域の子どもたちと住民の交流が多少進みました。
- 計画後期に小中学生に地域のイベントに参加してもらい内容の充実化を図りました。
- 3地区(第4南部・本牧根岸・新本牧)共催イベント「本牧ライトアップ」を開始し10年目を迎え、年々地区の住民に浸透していきました。
- 高齢者食事会や日帰りバス旅行の充実化を進めました。
- 自治会のない集合住宅で全世代参加型のサロンを立ち上げ、小学校の子どもたちと高齢者や住民が交流を深めることができました。
- 警察協力のもと、自転車安心安全教室を開催し、まちの環境の充実と世代を越えた住民の交流ができました。
- 防災訓練も小学校と連携して地域住民の参加を増やしました。

新本牧地区の統計データ

人口

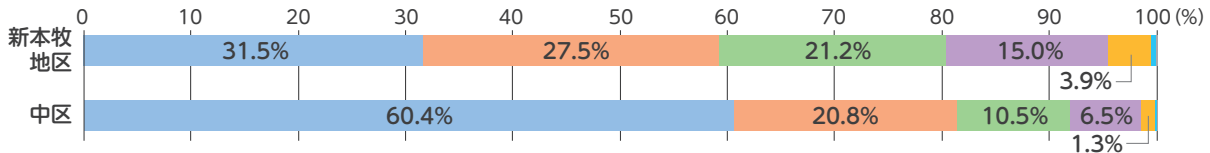
	合計	～14歳	15～64歳	65～74歳	75歳～
新本牧地区	8,941人	1,167人	5,421人	1,102人	1,251人
	100.0%	13.0%	60.6%	12.3%	13.9%
中区	155,313人	14,103人	104,356人	16,773人	20,081人
	100.0%	9.0%	67.1%	10.8%	12.9%

〈新本牧地区の人口割合〉



世帯人員別世帯数

■ 1人 ■ 2人 ■ 3人 ■ 4人 ■ 5人 ■ 6人 ■ 7人以上



住民の居住年数 (総数9,238人)

■ 出生時から ■ 1年未満 ■ 1年以上5年未満 ■ 5年以上10年未満
■ 10年以上20年未満 ■ 20年以上 ■ 不詳



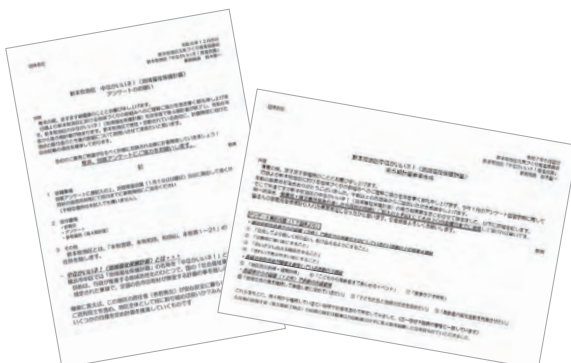
新本牧地区の約2割が65歳以上の高齢者世帯です。働き世代も多く居住しており、7割程度が2人以上の世帯であることから、ファミリー層が多く住んでいると考えられます。

地域の3割程度は10年以上の居住年数になっており、地域に長く住んでいる人も増えてきました。単位自治会ごとに個性的な行事もあり、つながりや交流ができるような個性のある取り組みも見られるようになってきました。様々な世帯が暮らしているため、世代や世帯人員数などを越えて、幅広くつながりをつくっていくことが大切です。

出典記載のないものは「横浜市統計情報ポータル」(令和7年3月現在)より引用しています。

第5期計画はこのように作りました

自治会町内会長、地区民児協、区民利用施設や福祉施設などで構成された「新本牧地区元気づくり推進協議会」で実施したアンケートをもとに計画の原案を作成し、それについて再び意見をもらい、計画を完成させました。アンケートでは、「日ごろの挨拶が大切。そういったつながりが有事の際にも有効に働く。」「交流の機会があり、継続してほしい。」「声をかけ合えるまちにしたい。」などのご意見や、高齢者の見守りや外国人居住者との交流、防災の取組についてのご意見もありました。





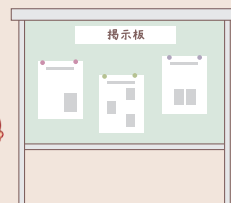
地域とのつながりは、こころとからだの健康づくりの第一歩です。あいさつやちょっとした交流など、無理なく、楽しく、できることから地域に関わり、「中なかいいネ!」の輪を一緒に広げていきませんか?

健康で笑顔あふれるまちを、みんなでつくっていきましょう。

はじめての「中なかいいネ!」ガイド

ステップ1 はじめの一步

- 近隣の人々とあいさつをする
- 町内会の掲示板や回覧板、SNSなどをチェックしてみる



ステップ2 無理なく参加

- 自分の趣味や得意なことを生かして、できることから始める
- 区内の施設のホームページをチェックしたり、相談に行ってみる
(地域ケアプラザ、区民活動支援センター、地区センター、区社会福祉協議会 など)

ステップ3 長続きのコツ

- 楽しんで参加する
- それぞれのペースで活動する
- 仲間を誘って一緒に活動する
- 身近な場所で活動する
- 得意なことを生かす

活動を継続すると
健康づくりや
暮らしやすいまちづくりに
つながります。

◆ 人もまちも元気になるつながりづくり

